

すすめ!

LOGS

電子部品製造のエノモト

(山梨県上野原市、武内延公のぶまさ社長)は、男性従業員の育休取得や年休の取得促進に力を入れている。自動車の電子部品を主力とする大槌町大槌の岩手工場(従業員103人)では、休みが取りやすい雰囲気づくりが進んでいる。

工場は3交代制で24時間稼働。休暇制度を利用しやすくするため、1人が複数の業務を担えるようにする「多能工化」にも注力。部門を越えた協力体制を構築する。ジェンダー平等を中心に、働きがいと経済成長の両立を図る。

大槌高卒業後に入社した製造課の川崎利則さん(30)は同町小槌は3児の父。「最大7日間休めるため、盛岡市での出産に立ち会った時も大槌と行き来する時間が取れて安心だった」と振り返る。

大槌

エノモト



これまでに3度の育休を取得した川崎利則さん。休暇が取りやすいよう多能工化が進む

プロフィール

【エノモト】1962年創業。91年に津軽工場(青森・五所川原市)、95年に岩手工場を設立し、海外ではフィリピンと中国に計3工場を持つ。国内の従業員は499人。岩手工場は大槌町大槌10の39。0193・42・8511。

い、岩手工場の21年度の年休取得率は全社平均64・2%を上回る68・1%を達成した。人手不足が深刻化する製造業にとって、福利厚生充実業にとつて、人材確保策にもつながる。矢島和久総務部長代理(55)は「男性の育児参加に加え、これからは不妊治療や親の介護などと仕事両立できるサポートが重要だ」と選んでもらえる企業を目指す。

失効した年次有給休暇を最介護、ボランティアに利用で大40日分積み立てて、育児やきる制度も2018年に導入。出退勤時に有給残日数を表示する「見える化」も手伝

育休、年休取りやすく